

こんにちは！  
めぐりん菜通信をお読みいただきありがとうございます。

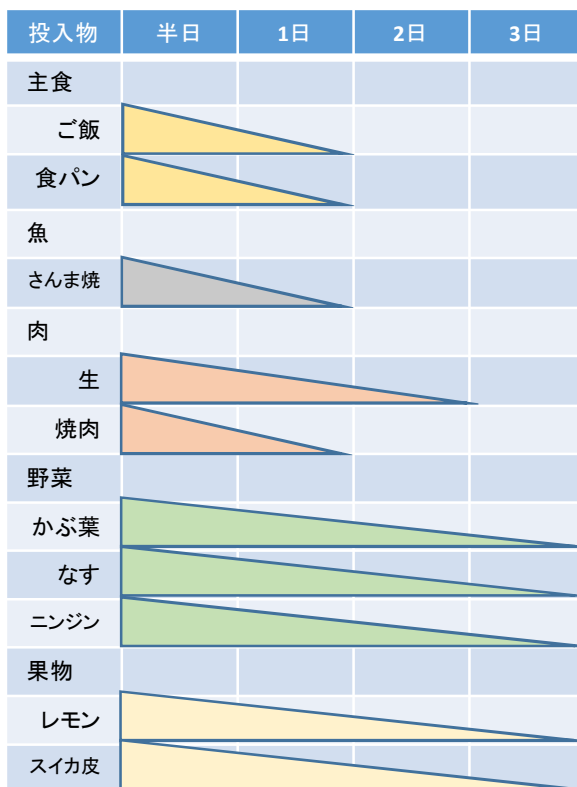
今月号は、「生ゴミ分解テスト」「5月の野菜」の記事をお届けします。  
山の色が一気に変わる、新緑の季節の到来です。

(担当：斉藤)

## 生ゴミ分解テスト(投入物別分解時間)

生ゴミ処理機に対するお客様の疑問は「本当に確実に減量するのか」に尽きます。先に漬物工場のデモ機で分解能力試験を実施し、計量により野菜残渣の90%減量(投入重量が1割になる)を確認しました。

さらに、いろいろな投入物別に分解テストを実施しました。



ご飯などのでんぷん、肉魚のタンパク質などは1日で確実に分解されます。(半日程度で見えなくなります)

難敵は野菜、果物です。食物繊維の分解に時間がかかり、翌日以降に残ります。

なお、全体の減量率は、どんなものが、どれくらいの割合で投入されるかによって決まります。「完全消滅」は食品残渣に無機物が入っている以上ありえません。

## 5月の野菜

5月が旬の野菜？、実を言うと野菜の端境期なんです。5月は夏野菜の苗の植え付け時期です。5月が過ぎればすぐに梅雨がやってきます。植え付けた苗の水やりの管理、春に孵化した害虫予防、農家にとって忙しい時期です。



写真は定番のなす、きゅうり、ピーマン、お薦めは空芯菜(クウシンサイ)。去年栽培しましたが、葉物が出回らない夏にクセが無い味なのでいろいろな料理に使えます。ニンニクを入れたシャキシャキな油炒め、一番のお薦めです。

でも、私は今年は作りません。理由は新芽が次々に伸び10月まで食べれるのでアキマシタ。

そうは言っても、5月に旬を迎える野菜は新じゃがいも、新ごぼうです。三河では冬に植え付けたものが4ヶ月経ち、収穫になります。

ハウス栽培で一年中豊富な種類の野菜が手に入りますが、一番味がよく、栄養価が高いうえに、価格が安いのは今が旬の野菜です。

